

果樹の生育概況

令和8年3月23日現在
福島県農業総合センター果樹研究所

1 気象概況

3月1～4半旬の平均気温は5.1℃で平年と同様であった。降水量は平年比49%、日照時間は平年比121%であった。

表1 半旬別気象表（果樹研究所）

月	半旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
3	1	4.7	4.0	+0.7	9.0	9.3	-0.3	0.9	-0.7	+1.6	23.0	13.9	165.1	34.6	32.1	107.9
	2	4.4	4.4	+0.0	9.9	9.7	+0.2	0.5	-0.2	+0.7	0.0	11.2	0.0	36.6	32.6	112.1
	3	5.0	5.3	-0.3	10.8	11.2	-0.4	-1.6	0.0	-1.6	0.0	11.0	0.0	50.4	34.9	144.5
	4	6.3	6.8	-0.5	13.3	12.8	+0.5	-0.3	1.4	-1.7	0.0	11.4	0.0	42.0	36.0	116.8
平均・合計		5.1	5.1	+0.0	10.7	10.8	-0.1	-0.1	0.1	-0.2	23.0	47.4	48.5	163.6	135.6	120.7

2 発芽状況

発芽の状況について、モモ「あかつき」は3月21日で平年より2日早かった（表2）。ナシ、リンゴにおいて、発芽は確認されていない（3月23日現在）。

表2 各樹種（品種）の発芽・展葉状況（観測地点：果樹研究所、3月23日現在）

	発芽観測日			展葉観測日		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
あかつき	3月21日	3月23日	3月24日	-	-	-
ゆうぞら	3月21日	3月24日	3月24日	-	-	-
幸水	未	3月31日	3月28日	未	4月12日	4月9日
豊水	未	3月28日	3月26日	未	4月8日	4月7日
つがる	未	3月25日	3月25日	未	4月7日	4月4日
ふじ	未	3月26日	3月26日	未	4月5日	4月2日

注) 平年は1996～2025年の平均値。

3 発育予測

仙台管区气象台が3月19日に発表した1ヶ月予報によると、向こう1ヶ月の気温は、高い見込みとなっている。

今後の気温経過について気象予報を用いた場合、各樹種の発芽はナシ「幸水」が3月30日頃で平年より1日早く、リンゴ「ふじ」が3月25日頃で平年より1日早いと予測される（表3）。

各樹種の開花はモモ「あかつき」が4月9日頃で平年より3日早く、ナシ「幸水」が4月17日頃で平年より2日早く、リンゴ「ふじ」が4月23日頃で平年より1日早いと予測される（表4）。

なお、この時期の生育は直前の気温に左右され、今後の気温の推移により、大きく変動する場合がありますので注意する。

表3 発芽予測日 [予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測：3月23日現在]

		発芽日		今後の気温経過			
		昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い	気象予報
幸	水	3月28日	3月31日	3月31日	3月31日	4月2日	3月30日
ふ	じ	3月26日	3月26日	3月26日	3月25日	3月27日	3月25日

注1) 発芽日の平年は1996～2025年の平均値。

注2) 今後の気温経過の気象予報とは、気象庁が発表している週間予報、2週間気温予報及び1ヶ月予報気温（3～4週目の平均気温）を反映し、以降の気温は平年並に経過した場合の予測値。

注3) 発育予測は2～3日の誤差を生じる場合がある。

表4 開花予測日 [発育速度（DVR）モデルによる発育予測：3月23日現在]

		開花日		今後の気温経過			
		昨年	平年	平年並	2℃高い	2℃低い	気象予報
あ	かつき	4月9日	4月12日	4月12日	4月7日	4月17日	4月9日
幸	水	4月17日	4月19日	4月20日	4月16日	4月25日	4月17日
ふ	じ	4月20日	4月24日	4月27日	4月21日	5月3日	4月23日

注1) 開花日の平年は1996～2025年の平均値。

注2) 今後の気温経過の気象予報とは、気象庁が発表している週間予報、2週間気温予報及び1ヶ月予報気温（3～4週目の平均気温）を反映し、以降の気温は平年並に経過した場合の予測値。

注3) 発育予測は2～3日の誤差を生じる場合があることに留意する。

4 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も弱くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底する。

（各樹種の生育ステージ別安全限界温度は、下記の技術資料を参照）

「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（令和8年3月4日）」

URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/733456.pdf>

事前対策としては、防霜資材の準備を徹底するとともに、地温の上昇を図るため、下草は5cm程度にこまめに刈り込む。また、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保する（乾燥条件は気温の低下が著しいため）。

なお、降霜被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を図る。

5 病虫害防除上の留意点

発芽前の防除は、温暖無風の日を選んで、遅れないように確実に実施する。

(1) リンゴ

近年、腐らん病の発生が多くなっているため、休眠期の防除を徹底する。薬剤による防除としては発芽前に石灰硫黄合剤 10 倍を温暖無風の日散布する。また、本病の病原菌はせん定痕から侵入するため、せん定痕にはトップジンMペーストの原液を塗布する。発病が見られる場合は、発病部を削り取るかせん除し、園外に持ち出すとともに、削り取った部位にトップジンMペーストの原液を塗布する。

輪紋病の発生が多い園等で枝幹にいぼ病斑がみられる場合は、病患部を削り取る。

うどんこ病によるボケ芽等はせん定時にせん除し、第一次伝染源の密度低下を図る。

カイガラムシ類の発生が多い園では、ワイヤーブラシなどで越冬部位をよくこすり落とす。

リンゴハダニの越冬卵量が多い園またはカイガラムシ類の発生の多い園では、発芽1週間前までに機械油乳剤 95 25 倍または発芽直前にハーベストオイル 50 倍を散布する。なお、これらの防除を実施できなかった場合は、発芽後1週間までにハダニ類を対象としてハーベストオイル 100 倍を散布する。

(2) モモ

縮葉病に対しては、発芽前（りん片がゆるむ頃まで）にキノンドー水和剤 40 500 倍、石灰硫黄合剤 10 倍、チオノックフロアブル 500 倍、トレノックスフロアブル 500 倍のいずれかを散布する。

カイガラムシ類の発生が多い園では、ワイヤーブラシなどで越冬部位をよくこすり落とす。

コスカシバの発生が多い園では、縮葉病防除後にフェニックスフロアブル 500 倍を樹幹部及び主枝に散布する。

ハダニ類、カイガラムシ類、アブラムシ類に対しては、発芽前に機械油乳剤 95 25 倍を散布する。モモアカアブラムシまたはカイガラムシ類を対象とする場合は、機械油乳剤 95 にかえてハーベストオイル 50 倍を散布してもよい。

ハマキムシ類の発生が多い場合は、発芽期から開花期前後に防除を実施する。なお、有機リン剤等の訪花昆虫に影響がある薬剤を使用する場合は使用時期に注意する。

(3) ネクタリン

縮葉病に対しては、発芽前（りん片がゆるむ頃まで）にキノンドー水和剤 40 700 倍、石灰硫黄合剤 10 倍、チオノックフロアブル 500 倍、トレノックスフロアブル 500 倍のいずれかを散布する。

カイガラムシ類の発生が多い園では、ワイヤーブラシなどで越冬部位をよくこすり落とす。

コスカシバの発生が多い園では、縮葉病防除後にフェニックスフロアブル 500 倍を樹幹部及び主枝に散布する。

カイガラムシ類に対しては、発芽前に機械油乳剤 95 25 倍を散布する。モモアカアブラムシまたはカイガラムシ類を対象とする場合は、機械油乳剤 95 にかえてハーベストオイル 50 倍を散布してもよい。

ハマキムシ類の発生が多い場合は、発芽期から開花期前後に防除を実施する。なお、有機リン剤等の訪花昆虫に影響がある薬剤を使用する場合は使用時期に注意する。

(4) ナシ

黒星病、ハダニ類及びニセナシサビダニを含む越冬病害虫に対しては、発芽10日前までに石灰硫黄合剤 10 倍を散布する。

「二十世紀」では、黒斑病の越冬伝染源（枝病斑、ボケ芽）をせん除する。

カイガラムシ類の発生が多い園では、粗皮下の越冬卵をワイヤーブラシなどで越冬部位をよくこすり落とす。

ハダニ類やカイガラムシ類の発生が多い場合は、石灰硫黄合剤にかえて機械油乳剤 95 25 倍またはハーベストオイル 50 倍を散布する。ただし、樹勢が低下した樹には使用しない。

(5) ブドウ

晩腐病の病原菌は前年の房の取り残し部分、巻きひげ、結果母枝の枯死部などで越冬し、黒とう病の病原菌は巻きひげや結果母枝の病斑部で越冬するため、これらを丁寧に除去し、越冬病原菌密度の低下を図る。なお、巻きひげ除去の専用器具を用いることで、巻きひげの効率的な除去が可能である（参考：令和5年度参考となる成果）。

カイガラムシ類の発生が多い園では、粗皮下の越冬卵をワイヤーブラシなどでよくこすり落とす。

昨年、ハダニ類の発生がみられた場合は、休眠期に石灰硫黄合剤 20 倍を散布する。